

前橋赤十字病院だより

HAKUAI +

【はくあい プラス】

Japanese Red Cross Maebashi Hospital

特集 MQC (Medical Quality Center:
メディカルクオリティーセンター)

患者さんに適切な医療を提供するためのスペシャリスト集団

〈病院よもやま噺〉電気の設備のお話(後編)

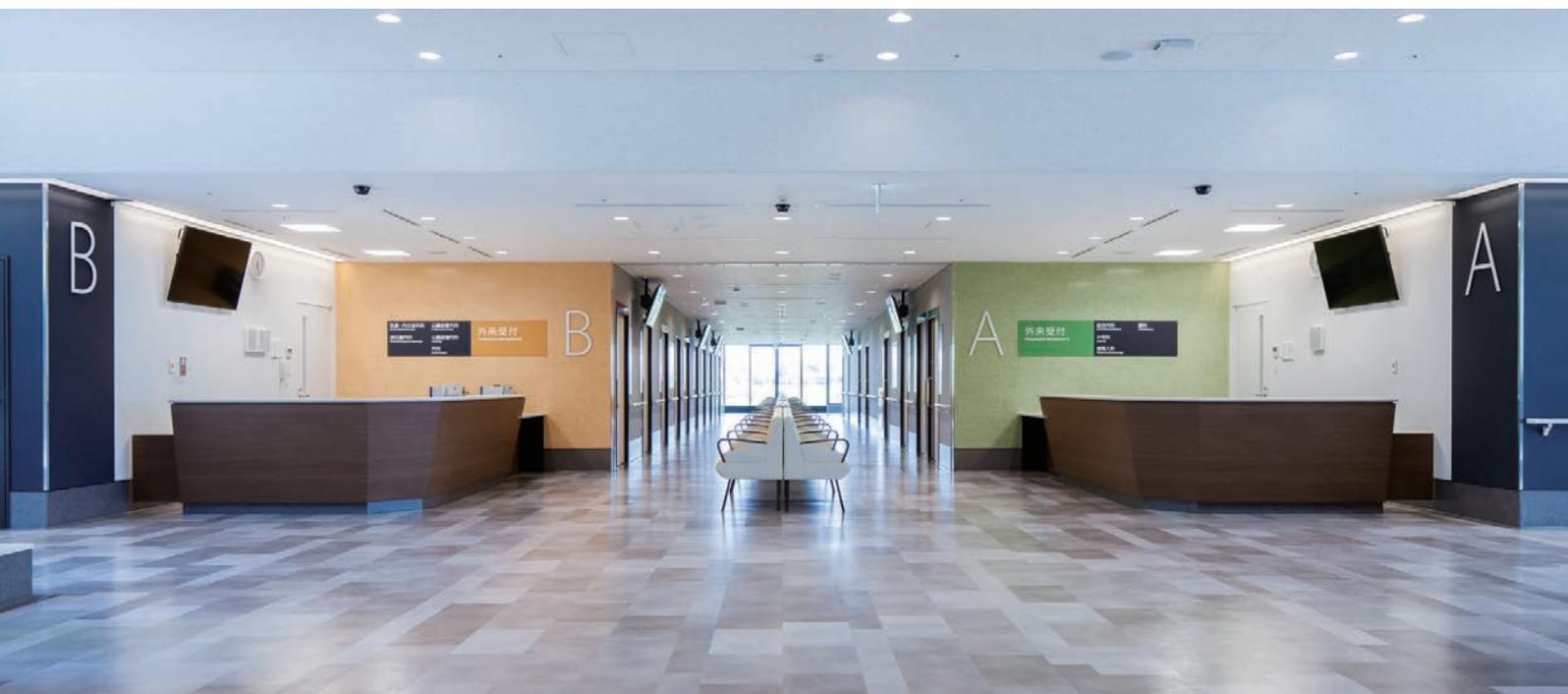
〈健康学〉さくらと食生活

TAKE FREE

vol.

65

2021
spring



みんなにとってやさしい、頼りになる病院

Japanese
Red Cross Society

前橋赤十字病院

MQC [Medical Quality Center: メディカルクオリティーセンター]

患者さんに適切な医療を提供するためのスペシャリスト集団

当院では、MQC室を設置のうえ、
各専門分野の専従看護師(専ら専門分野の業務に従事)が常時勤務しています。
医師・看護師・メディカルスタッフが協力して、
患者さんによりよい医療が提供できるように日々取り組んでいます。
誰が欠けても適切な医療を提供することができません。
専従看護師が中心となり、各分野のチームを牽引しています。
横断的に活動する看護師の役割や活動についてご紹介します。

医療安全管理課とは

医療安全管理課は、医療安全・感染対策・かんわケア・NSTの事務局として、委員会・研修会・講演会等の開催、運営や管理の事務業務等を担い、円滑に業務が進められるように支えています。人員は事務3名と小さなチームですが、ゆくゆくはすべてのチームの事務局を担うことが目標です。



医療安全とは

患者さんが安心して安全な医療を受けられるように、また職員が安心して働ける環境を整えるために日々取り組んでいます。週1回のカンファレンス、月1回の委員会および院内ラウンド、研修会、講演会等の開催を通じて、職員の安全に対する意識づけをすることにより安全文化の

醸成に務め、医療の質の向上と安全な医療の提供のサポートを行っています。



NST (Nutrition Support Team) 栄養サポートチームとは

「主治医の栄養療法を支援し、患者さんのQOLを栄養学的側面から支えます」という理念のもと、院内全ての病棟を回診して、患者さんの状態に合わせた栄養療法を提案しています。また言語聴覚士や歯科衛生士とともに、口腔ケアの方法や食事介助の方法などを病棟と共有するなど、患者さんが安全に楽しく食事ができるような取り組みも行っています。

メンバーには検査技師や医療福祉相談員、理学療法士もいます。栄養サポート外来も行っており、入院中だけでなく退院後も継続してよりよい栄養

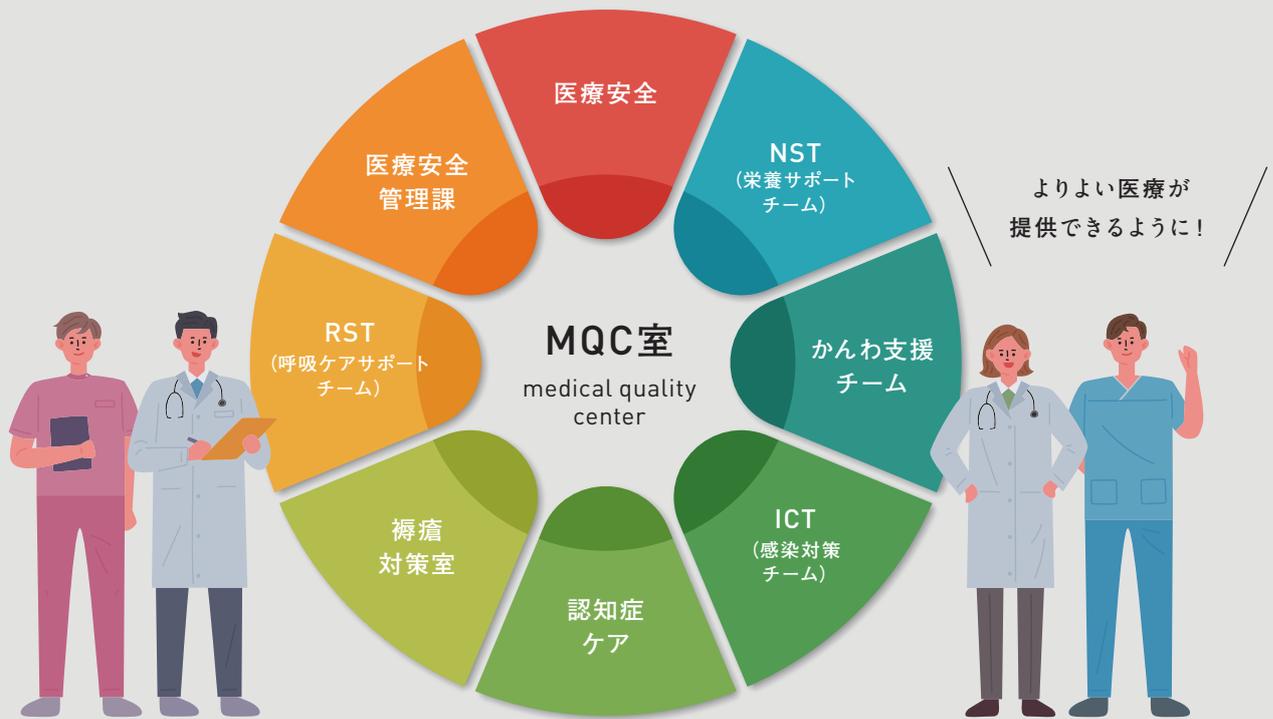
管理ができるように多職種で連携をしています。専従看護師の役割として、患者さんを中心として多職種での関わりがスムーズになるように調整役を担っています。



かんわ支援チームとは

私たちは、患者さんとその家族の方の意思を尊重しつつ、身体的、精神的、社会的、心理的な苦痛を緩和し、今このときを大切に過ごせるよう博愛の心をもって支援しています。





ICT (Infection Control Team) 感染対策チームとは

病院は、もっとも清潔であるべきだと誰もが信じています。病院は、病原体と戦う患者が集まる場所でもあります。この相反した課題を解決するため、私たちは、日々、様々な取り組みを行い、院内感染のない病院を目指し活動しております。の関わりがスムーズになるように調整役を担っています。



認知症ケアとは

認知症の診断がある患者様や認知機能の低下のある患者様（認知症の診断はない）を対象に活動をしています。月に1度の会議や年に数回、院内研修を開催しています。また各病棟のリンクナースとともに病棟をラウンドし、認知

症の患者様が入院生活に感じる不安や混乱、恐怖感などを少しでも緩和し、安全に治療を受けられ、安心して過ごせるよう療養生活環境を整えています。



褥瘡対策室とは

褥瘡対策は、皮膚科医師2名、褥瘡対策兼任看護師4名（各曜日2名ずつ）、褥瘡管理者1名で、毎週火曜日と金曜日に褥瘡回診・院内の褥瘡対策を行っています。褥瘡に関する事は、お気軽にお問い合わせください。



RST (Respiratory care Support Team) 呼吸ケアサポートチームとは

RSTは「急性・慢性を問わず呼吸療法を必要とする患者に対し、適切な呼吸療法を提供する」をコンセプトに2012年から活動を開始しています。チームメンバーは医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士・歯科医師・歯科衛生士など多職種で構成されており、病棟にはリンクナースも配置されています。活動日は、主に毎週火曜日の午後と限られてはいますが、人工呼吸器を装着した患者のラウンドやマニュアル等の作成、呼吸療法に関わる学習会の実施など活発に実施しています。今後も、当院の呼吸療法の質向上に努めていきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願い致します!!





病院だより

News from the hospital



呼吸器外科とは

呼吸器外科とは、胸にある臓器で食道と心臓以外、すなわち肺・気管支・横隔膜・肋骨などを手術する診療科です。胸のレントゲン検診で肺に影があった場合には、呼吸器外科に関連する疾患の可能性が

この科で扱う主な疾患としては、肺がん、肺腫瘍、縦隔腫瘍(じゅうかくしゅよう)、胸膜中皮腫(きょうまくちゅうひしゅ)、気胸(ききょう)、膿胸(のうきょう)、胸部外傷などがあります。このうち手術の対象として最も多いのが肺がんです。



胸腔鏡(きょうくうきょう)を使用した肺がんの手術

当科では、20年以上前から胸腔鏡による小さなきずで手術を行っています。

この方法で手術をすれば痛みは軽く、早ければ手術してあら2~4日程度で退院することも可能です。これにより患者さんに対する痛みなどの負担を最小限にしながら、従来の開胸手術と同程度の治療成績を出しています。

ただし、きずは小さくても胸の中では開胸手術と同じことをしているので、手術の難易度は高くなります。従って胸腔鏡手術は経験豊かな外科医が行う必要があります。さらに重要なことですが、「小さなきず」が目標ではなく、がんをきちんと取り除いて安全に手術を行うことが最終目標です。

患者さんへの負担を少なく『胸腔鏡手術』



胸腔鏡手術(3つの創)
(2.5cm/1.5cm/1.5cm)



単孔式胸腔鏡(1つの創)による肺がん手術
3~4cmの皮膚切開ひとつで肺がん手術

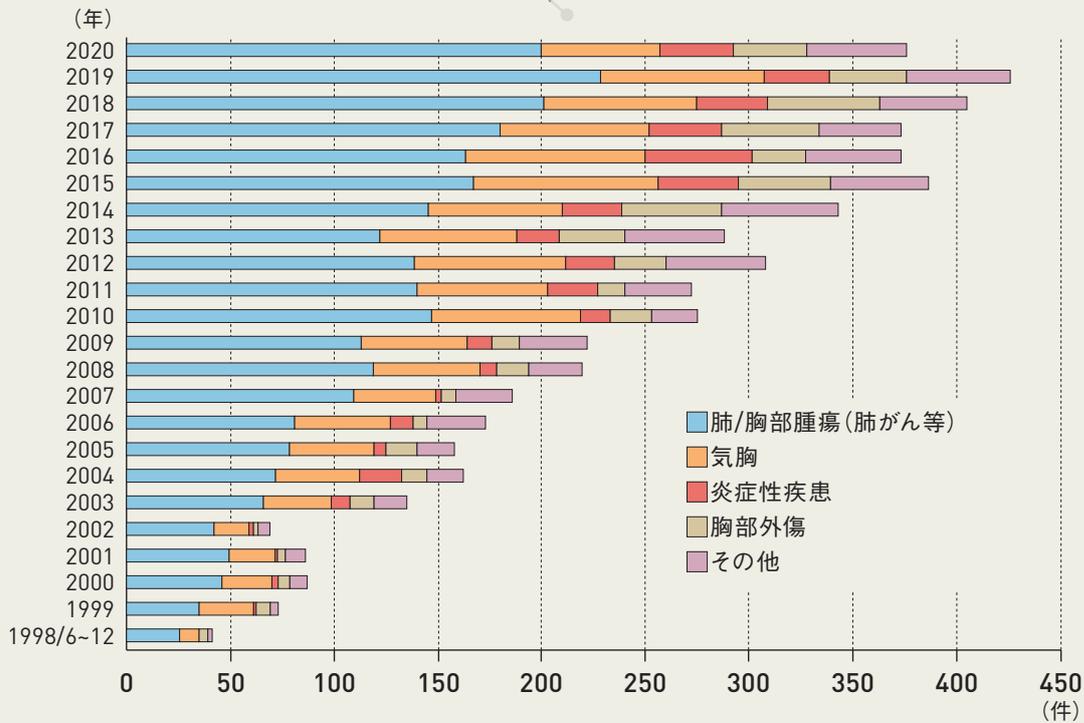
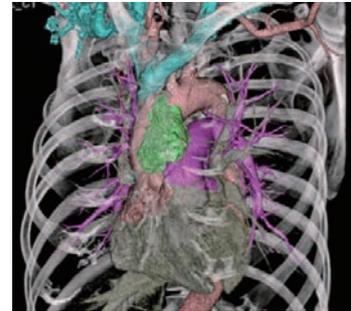
診療体制

総勢16人の常勤医師(呼吸器外科、呼吸器内科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科)と、その他に研修医等がかかわりながら、チーム医療を行っております。そして週数回スタッフが集まり、患者ごとに治療方針を検討しています。それにより適切な治療計画を立て、年間400件前後の手術を行っています。



手術に対する医療安全管理

手術の前に3次元CTによるシミュレーション画像を作成して、安全かつ手術時間・出血量を最小限度にして、手術をより安全に行っております。



今までに行った手術の件数(1998年6月~2020年12月)

- 疾患:5,437件、そのうち、肺悪性腫瘍(肺がん):1,922件。
- 年間400件前後と、関東でも有数の手術件数。

前橋と
病院周辺の
気になるコト

病院 よもやま 噺

ばなし



Topics-1

電気の話のお話(後編)

前号では、平常時の電力設備のお話をしましたが、今回は、非常時についてご紹介いたします。天川変電所からの本線の供給が停止すると、六供変電所からの予備線へと切り替わりますが、予備線も停止してしまった場合には、非常用発電機(1750KVA×2)が速やかに動き出し、病院の機能を維持します。この非常用発電機の燃料である重油は、敷地内の地下タンクに60000ℓ(+発電機室に1950ℓ)貯蔵されており、80時間以上稼働することができます。

また、非常用発電機からの供給が始まるまでには、どうしても1分程度のタイムラグが生じてしまいますが、人工呼吸器や人工心肺などの生命維持装置などに対しては、無停電電源装置(バッテリー)により、停電することなく、絶え間なく電力を供給できるようになっております。当院のUPSは1階と7階にあり、475KVAという一般的な病院に比して大容量となっております。通常の使用状況で5時間程度、連続稼働できるようになっており、災害時においても救急外来、集中治療室、手術室などをはじめとした病院機能に支障なく、診療を続けることができます。



病院電力の担い手 電気主任技術者の森田博さん(後ろはエネルギー棟)



Topics-2

黒斑山(くろふやま)

黒斑山は群馬県嬲恋村と長野県小諸市の県境に位置する浅間外輪山の1つで最も標高の高い山です(標高2404m)。

山頂からは浅間山の雄大な景色を一望でき、切れ落ちた斜面の下には高山植物が豊富な湯ノ平の美しい景色を楽しむことができます。

健康学

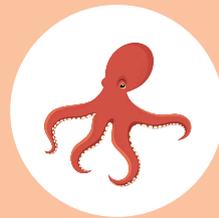
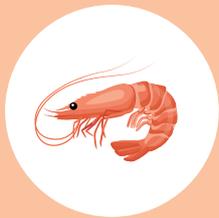
Health science

第3回

さくらと食生活

目 本では古来より桜の咲き方でその年の農作物の出来を予測するなど、農業や神事にとって大切な花であったともいわれています。桜と名のつく食べ物も数多く存在します。駿河湾で春や秋によくとれる「桜えび」は、鮮やかな桜色が特徴です。たこを炊き込んだごはんは、その色合いから「桜飯」とも呼ばれます。鯛は「めでたい」、えびは「腰が曲がるまで長生き」、たこは「多幸」など、縁起のよい食材とされていて、卒業や入学、進級、結婚などのお祝いの食事などで振る舞われます。

また、私たちの祖先は、桜を見て楽しむだけでなく、花や葉を食べ物にして味わう知恵も生み出しました。桜もちに巻いてある葉は、桜の葉を塩漬づけにしたものです。桜の花も塩漬づけにされ、飲み物やお菓子などに使われています。花も葉も、生では香りがしませんが、塩漬づけにするとクマリンという独特の香りが生まれます。塩漬づけにされた桜の花は、お湯を注ぐときれいに花開きます。これを桜湯といい、結婚が決まった時に行う結納などのおめでたい席で出されます。



今回は季節のお菓子として「さくらもち」のレシピを掲載します。簡単に作れますので是非チャレンジしてみてください。

さくらもち

【材料】 6個分

生地：白玉粉20g・水100ml・砂糖小さじ1・薄力粉50g・食紅赤1滴・サラダ油小さじ1・こしあん120g・桜の塩漬け葉6枚

【作り方】

桜の葉の塩漬けは2時間ほど水に浸して塩抜きし、キッチンペーパーで水分をしっかりと拭き取っておきます。こしあんは6等分しておきます。

- ①ボウルに白玉粉を加え、水を少量ずつ数回に分けて加え、泡立て器で混ぜ合わせます。
- ②混ざったら砂糖を加え混ぜ合わせます。さらに、薄力粉は振るいながら加え、混ぜ合わせます。

③全体が混ざったら、食紅を爪楊枝の先端につけて加え、混ぜ合わせます。

④弱火で熱したフライパンにサラダ油をひき、キッチンペーパーで薄く伸ばします。大きさ2程度の量の③を流し、楕円形にし、弱火で焼きます。表面が乾いたら、取り出して冷まします。

⑤焼いた面を外側にし、こしあんを手前に乗せて巻きます。桜の塩漬けで包んで完成です。



十 | 字 | 路

編集後記

「当たり前」

リニューアル後の3号目では職種間・部門間の垣根を超えた多職種連携の当院での取り組みをお伝えしました。病院内に様々な職種が働いていることに驚かれたのではないのでしょうか。

「病院の土台を支える人々をクローズアップする」がリニューアルした院外広報のコンセプトです。新型コロナウイルスに対応した病院情報システムや新しい医療従事者養成のサポート、そしてチーム医療の横断的活動を取り上げました。よもやま噺では2号続けて病院の電力についてお伝えしましたが、普段何気なく使っている電気。私たちの生活になくてはならないものですが、注目されることはまずありません。病院のエネルギーセンターや非常用電源を取材したあとにお話をうかがった森田さんが最後に「普段電気のことを気にしていないで使えている状況が当たり前でいいんですよ」とおっしゃっていました。

かつて私たちの生活はいろいろな当たり前によって成り立っていました。人には会いたいときに会い、集い、行きたい時に行きたい場所に旅行に行き、誰に気兼ねすることなく行動できる。

今は国境を超えるどころか県境を超えて移動することもできない、人との接触を減らし、時間や行動を制限し、リモート出勤やWEB会議など、いままでの常識や習慣を変えざるを得ない状況にあります。

ほんの少し前の日常が当たり前でなくなっただけで、改めて他者が自分の当たり前を支えてくれていたことに気づいた方は多いのではないのでしょうか。

病院の診療、診察、治療も同様に様々な人の手を介して協働して初めて成り立つものです。

世間では知られていないけれど大切な仕事やなくてはならない役割を担っている人たちが医療者がよりよい診療、治療に集中できるよう病院の土台を支えてくれています。

病院の華々しい部分だけでなく、患者さんの治療の最終目標に向かい多職種が協力して研鑽し合っている姿を広報「HAKUAI+」で今後もお伝えしていきます。ときに退屈でときに心躍らせる平穏な日々が滞りなく続いていくことを願いながら、これからも驚きと発見をお届けします。

(広報委員会 塚越貴子)

「理念」と「基本方針」

理 念

みんなにとってやさしい、
頼りになる病院

基本方針

1. 自分や家族がかかりたい病院となる
2. 社会に必要とされる病院となる
3. 職員が働きたい病院となる
4. 経営が安定している病院となる

 **日本赤十字社** 前橋赤十字病院
Japanese Red Cross Society

最新の情報につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.maebashi.jrc.or.jp>

〒371-0811 前橋市朝倉389番地1
Tel.027-265-3333 Fax.027-225-5250
e-mail:maeseiki@maebashi.jrc.or.jp

編集:前橋赤十字病院広報委員会
発行責任者:事務部長 鈴木典浩

■診療受付/午前8時30分～午前11時
■診療開始/午前9時
■休 診 日/土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12/29～1/3)・創立記念日(3/23)

◎広報・ホームページに関するご意見ご感想がありましたらお知らせください。

